

インドネシアから学ぶ時代に

人口ボーナスにも恵まれ今後の伸びしろが大いに期待できるインドネシア。

その社会や人々の特徴とは。(2021年度日外協「国別派遣前セミナー(インドネシア)」から抜粋)



日外協・国際ビジネスアドバイザー
菊池武洋

多様性の共存を国家が保証

インドネシアの国家5原則「パンチャ・シラ」とは、①全知全能の神(=自身の信仰している神)への信仰、②公正にして文化的な人道主義、③インドネシアの統一、④合議と代表制による民主主義、⑤全インドネシア国民に対する社会主義。国章の神鷲「ガルダ」は多様性の中の統一を表わしている。多数派優先ではなく、多様性の共存を国家が保証することで、国家としての統一を保っている。



インドネシアの国章ガルダ

国家の特徴を5つ挙げると次の通り。

1. 大人口と多民族国家

2億7千万人、世界第4位の人口大国。人口ボーナスは長期間にわたって続く見通し。300もの民族集団(1128民族)から成る多民族国家であり、言語も745。公用語はインドネシア語。

2. 少数派華人の経済影響力

人口の4~5%に過ぎない華人が経済の7~8割を握る。政治(権力)はプリブミ(マレー系)、経済(財力)は華人、の二重構造。

3. 資源大国

パーム原油世界一をはじめ、ゴム2位、^{すず}錫・ニッケル・石炭2位など世界トップクラスの豊富な資源を産出する。

4. 世界最大のイスラム教国

インドネシアは国民の約9割がイスラム教を信仰する世界最大のイスラム教国。それでも、憲法で信教の自由が保障されており、イスラム教は国教ではない。

5. 女性の目覚ましい社会進出

財務・海洋・企画大臣などの主要閣僚や、副大臣・総局長クラスの政府高官に女性を起用。国会議席の30%は女性に割り当てられている。また、国営石油プルタミナはじめ大企業でも多くの女性経営者が活躍する。

指示が伝わったか確認すること

日本とインドネシアの相違点は何か。違いはどこから来ているのかといえば、何より気候・風土の影響が大きい。冬がないインドネシアでは、木の実や果物の種を捨てるだけで木になり実がなる。時間感覚が欠如しているので、「誰がいつまでに何をするか」を明確にしないと物事が進まない。仕事に対する考え方では、特に「責任」に関する感覚が違う。日本人は責任を与えられることに名誉を感じるが、インドネシ